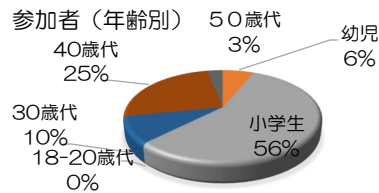
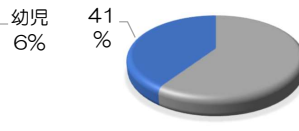


○海辺の昆虫観察会（8/4）アンケート結果

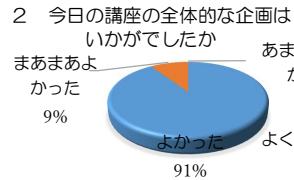
問1 あなたの年代、性別は…？



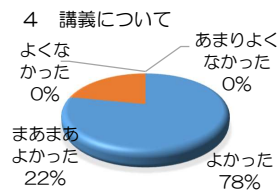
参加者（性別）



問2 講座の全体的な企画は…？

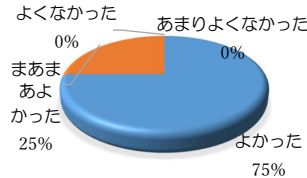


問4 講義について…？

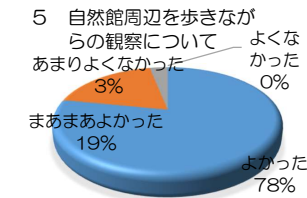


問3 日程はいかがでしたか？

3 日程はいかがでしたか



問5 自然館周辺を歩きながらの…？



問6 今日の講座について…？

- 暑かったけど、一つ一つ丁寧に説明いただき、子ども共々興味深く観察できました。クワガタ大切に育てたいと思います。（40代、女）
- どのお話もおもしろく、もっと聞きたいくらいでした。（30代、女）
- とても面白かったです子どもも興味深く聞いていました。一歩進むたびにたくさんの情報を聞け、大人も大満足でした。ありがとうございました。（40代、男）
- 昆虫観察もわかりやすかったし、ヒラタクワガタももらえたので楽しかった。（小6、男）
- 昆虫だけでなく、植物や童話の話聞いて、ためになった。（小5、男）
- いろいろな昆虫や植物をいっぱい観察して、クワガタがもらえて、すごく楽しかった。（小4、男）
- とても楽しかったです。虫だけじゃなくて、植物や貝のこともわかってよかったです。クワガタムシをがんばって育てたいです。（小5、女）
- ぜつめつきぐしゅのバッタにさわられてよかった。クワガタを育てるのは初めてだから、育てるのが難しそうだったけど、がんばりたいです。（小3、女）

問7 今後の講座で…

- ぜひ、春や秋にも企画してください。（30代、男）
- ゼミの講座を聞きたいです。（40代、女）
- 海辺の生き物観察など（50代、男）
- 貝、砂など！！（小1、女）
- チョウの講座に参加してみたいです。（小5、女）



伝説 鬼の岩

むかし神田の大久保の高坪山に、たくさんの鬼が住んでおった。鬼は里に出ては物を盗んだり、悪事をばたらいたので、村人は困ってしまっただ。これを聞かされた住吉の大神が、あるとき鬼と賭けをされ、「一晩のうちに浦中の生簀をもらおう」と言われた。鬼は、「勝ったら浦中の生簀をもらおう」と、いった。そうしてさっそく石を投げ始めた。みるみるうちに海が埋められて、すぐに陸続きになりそうになった。そこで住吉の大神は木の上にのぼって、蓑笠をはたはたさせて、「コケコッコー」と、鶏の鳴くまねをされた。鬼どもは、「しまった、夜が明けてしまった。俺たちの負けだ」といって逃げた。それから後は鬼は出なくなった。村人は住吉の大神に感謝して、山の上に祠をまつた。そのとき鬼が投げた大きい石が嶋島（初島）で、小さい石をたくさん投げたところが海士ヶ瀬といふ。いつまでも角島の海岸には、鬼の手形のついた岩がある。まだ高坪では、今でも鬼ともが酒盛りをした土器が出るという。

（ふるさと豊北の伝説と昔話より）

下関市生涯学習まちづくり出前講座

考えてみよう！
下関から流れ出した漂着物

角島を含む、下関の海岸に打ち上げられた漂着物はどこへ行きどうなるのでしょうか。嶋田先生に楽しく解説して頂きます。海洋ゴミが増えるなどどうなる？海の生き物たちへの影響は？みんなで学び、考えてみよう！

2024年9月28日(土) 10:00～12:00
つのしま自然館にて

講師：国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産大学校 海洋生産管理学科
嶋田 陽一 先生

◆申し込み方法◆
氏名、年齢、住所、電話番号を
電話、はがき、FAXのいずれかにて
9/25(金)までにつのしま自然館へ
申し込み下さい。

◆定員：20名程度
◆対象：小学生以上、大人も歓迎
(小学生は保護者同伴で参加、お申し込み)
◆参加費：1,000円（保険料含む）
◆受付：9:30～10:00

◆特別企画◆
漂着ゴミのネットボトルのキャップで
カラフルなキーホルダーを作ろう！

▼問合せ、申し込み先：つのしま自然館
▼所在地 〒759-5332 下関市豊北町角島893-1
TEL/FAX 083-786-0430
E-mail: tsunoshimakujira@cc.wakwak.com
★開館時間 午前9時～午後4時30分(受付は午後4時まで)
★休館日 毎週火曜日（祝祭日の場合は翌日）



編集後記

- 県自然保護課や豊田ホタルの里ミュージアムのご支援・ご協力をいただき、館内でのリニューアルに、少しずつ取り組み始めました。お楽しみに！
- 新しいつのしま自然館のロゴも決まりました。

つのしま自然館だより

Tsunoshimakujira

第12号 2024.08.14
発行/豊北町自然観察指導員会
〒759-5332
下関市豊北町大字角島893-1
つのしま自然館
☎/fax 083-786-0430
E-mail: tsunoshimakujira@cc.wakwak.com

昆虫観察会を通して、自然と深く向き合う一日を体験！

2024. 8.4(土)実施

角島大橋が開通してもうすぐ24年、年間100万人の観光客が訪れる島の環境は、急速に変っています。キャンプ場で見つかるたくさんの白い貝殻は西日本から関西に棲息を増やしている地中海沿岸原産のカタツムリです。また、海を泳いできたと思われるイノシシが島で繁殖して畑を荒らし、外来魚のブラックバスがため池で見つかります。

昆虫観察会の講師の先生も、クワガタが流木に乗って海を渡ってきたことや、川辺のカマキリが車や人にまぎれて橋を渡ってくるお話をされました。角島の環境は年を追うごとに変化しています。私も最近、AIやらSNSやら、環境の変化についていけない自分を感じています。昆虫観察は、山の方がと思っていた私ですが、「昆虫観察会」に来た子どもたちは、どこであろうと興味津々、自然の変化を知ることができる角島ならではの観察会になりました。

館長 広瀬 徹

今回の観察会で見つけた昆虫など

① ハラヒロカマキリの卵 ② トノサマバッタ ③ ヤマトマダラバッタ